

別紙 2

教職員の時間外在校等時間縮減に効果の高い学校の取組状況調査表

市町村名・学校名	常陸大宮市・常陸大宮市立大宮小学校
----------	-------------------

1 時間外在校等時間の状況（教職員の平均値）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
小学校	25:29	28:29	31:10	40:54	30:17	35:46	20:27
中学校							

2 学校が主体的に実施する効果が高い取組の概要

【学校業務の削減・縮減に関する取組】

○職員会議等の資料をペーパーレス化（タブレットの資料を活用）し、各担当者の資料作成後の時間をかけた資料集めや印刷とじ込みの手間が省け、その仕事に多くの時間を費やしていた学年主任、教務主任の勤務時間外の仕事時間短縮に繋がった。
 （教務主任の1か月時間外勤務時間 4月69:51 5月49:14 6月53:10 7月38:19 9月33:40）
 ○校務分掌等の文書共有フォルダを校務内容別に整理し、業務の引継ぎや起案文書の作成の縮減を図った。

【教職員の意識改革に関する取組】

○定時退勤をする曜日を学校全体で同じ日にせず、教職員個人に週当たり1日以上以上の退勤日を決めてもらい、一覧表にしたものを職員室の入り口に掲示した。さらに、管理職が退勤を勧める声かけを行った。教職員が、退勤時刻を意識するようになった。
 ○管理職の座席の前に、出退勤用PCを置き、管理職から早めの退勤を勧める声かけを行う。管理職からの積極的な声掛けにより、残りの仕事を翌日に回すなど、気兼ねなく退勤できる雰囲気づくりを行った。

【その他時間外の原因分析・解消に関する取組】

○地域ボランティアによる奉仕作業への協力により、年間3回行う奉仕作業の教職員の作業出席回数が、学年グループ分けの輪番制での参加が可能となったため1回に削減された
 ○校務運営システムの運用により、出席簿や指導要録、通知表の個人データを一元化したため、学期末・学年末の事務処理作業時間の短縮に効果をあげた。また、市内間の文書データのやり取りも電子化し効率的に行えた。（市教育委員会）